

しろうさぎ



vol.42

2015.10.1

島根大学
SHIMANE UNIVERSITY

ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

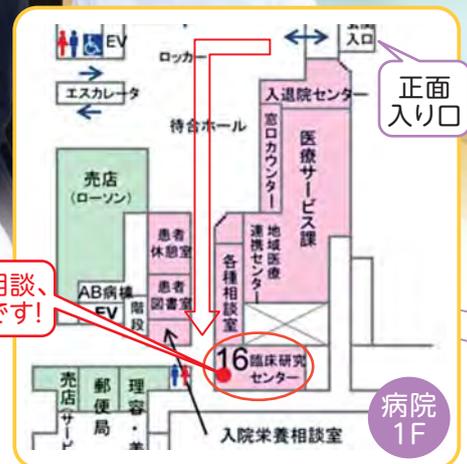


TAKE FREE

ご自由にお持ち帰りください



16
臨床研究センター
(治験管理部門)



CONTENTS

●表紙の説明は次ページをご覧ください >>>>

特集 『島大病院の治験』

- 「新しい治療を受けるチャンスがあります!」 治験管理部門長 直良 浩司 教授
- 「気軽に私たちにご相談ください」
治験コーディネーター 古谷 美和子 看護師
- 「山陰で唯一肝細胞がんの治験を行っています」
肝臓内科 佐藤 秀一 准教授

- *病院探検隊! ~みらい棟編~
- *病院のまめ知識
~なぜ、くすりは水で飲んだほうがいいの?~
- *私のここだけの話
- *ニュース&トピックス
- *海外から見た「出雲の不思議」
- *イベント等のお知らせ

島大病院 参加者を募集中の^{ちけん}治験

対象疾患など

前立腺がん
 肝細胞がん
 急性虚血性脳卒中又は一過性脳虚血発作(TIA)
 COPD(慢性閉塞性肺疾患)
 ビュルガー病(バージャー病)
 膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症
 局面型乾癬(関節症性乾癬を含む)
 気管支喘息
 血管新生緑内障
 子宮頸がん
 中耳炎、扁桃炎、咽頭・喉頭炎
 がん疼痛
 潰瘍性大腸炎

実施診療科

泌尿器科
 肝臓内科
 神経内科
 呼吸器・化学療法内科
 心臓血管外科
 皮膚科
 皮膚科
 呼吸器・化学療法内科
 眼科
 産科婦人科
 耳鼻咽喉科
 麻酔科
 消化器内科

お問合せ先

島根大学医学部附属病院 臨床研究センター 治験管理部門

Tel.0853-20-2492 (平日 9:00 ~ 17:00)

E-mail tiken@med.shimane-u.ac.jp

ホームページ <http://www.shimane-u-tiken.jp/>

表紙について…

臨床研究センター治験管理部門の皆さんです。治験管理部門の業務は、本院で行われるすべての治験について、さまざまな視点から患者さんと医師を支援し、新しい治療法を開発していくことを目的としています。そのために治験コーディネーター(薬剤師・看護師・臨床検査技師)が活躍しています。



『島大病院の治験』

special issue

特集

「治験」という言葉を聞いたことはありますか？

「治験」とは、治療に役立つ新しい薬を開発する試験のことです。

治験はどのように進められているのでしょうか？

今回は治験管理部門と、積極的に治験を行っている診療科にお話を聞きました。



「新しい治療を受ける チャンスがあります！」

治験管理部門長 直良 浩司 教授

Q 治験に参加することの意義やメリットは？

A まず、今までにない新しい治療を受けるチャンスができます。これまでの治療では良くならなくても、治験薬を使用することで快方に向かうことがあります。

さらに、通常の治療よりも詳細な診察や検査が行われますので、病気の状態や検査結果について詳しく説明を受けることができます。治験薬や検査代などに対する患者さんの費用負担はありません。

また治験は、患者さんの治療に役立つ薬を誕生させるという社会貢献にもなります。

本院では治験に参加いただける患者さんにスムーズに診察を受けていただけるように治験専用の診察室を設置したり、専従の治験コーディネーターを置くなど、県内でも整った体制を取っています。本院で実施中の治験の情報などを、治験管理部門のホームページに掲載していますので、ぜひご覧いただきたいと思います。

Q 治験はどのように進められるのでしょうか？

A はじめに、参加を希望する患者さんや、治験薬を使うことで症状の改善が期待できると担当医が判断した患者さんに治験の目的や方法などについて詳しく説明をします。

参加するかどうかは自由ですし、その場で決めなくても構いませんので、ご家族などと十分に相談して決めていただけます。参加をお断わりになられても、不利益は一切ありません。また、参加された後でも、いつでも辞退することができます。

同意をいただいた後、治験への条件を満たした方に、一定期間、治験薬を使用していただけます。

治験中は定期的に受診いただき、採血・採尿・血圧測定などの検査を行って病状や体調を詳しく診察します。

なお、治験薬の使用にあたっては、効果の有効性を確かめるため、プラセボ（偽薬）を一部で使用していただくこともあります。

島根大学

治験

検索

『島大病院の治験』



「気軽に私たちにご相談ください」

治験コーディネーター 古谷 美和子 看護師

Q 治験コーディネーターってなに？

A 私たちが相談窓口となり、患者さんに治験に関する説明を行っています。

また、開発中の新しい薬や治療法を用いて安心して治療を受けられるよう検査や診察に付き添ったり、患者さんの安全や人権、プライバシーに配慮しながら治験を進めていくことがコーディネーターの大切な業務です。

その他にも、治験のスケジュール管理、治験を依頼する製薬会社との連絡調整、治験に関するデータのまとめなどがあります。

本院には、治験コーディネーターとして看護師の他に薬剤師、臨床検査技師がおり、治験薬の服薬指導や、検査機材等の準備・調整をして、患者さんに負担をかけず、治療がスムーズに行われるようにしています。

Q 患者さんからどのようなことを相談されますか？

A 募集中の治験をご覧になって、ご自分やご家族の疾患の治療法の一つとして治験に興味を持たれ、対象となるかどうか尋ねられることが多いです。また、主治医から治験について説明を受けた方が、さらに詳しく知りたいと相談に来られることもあります。

治験への参加は、患者さんがご自身の意思で決めるものなので、十分納得して決めていただけるよう、利益と不利益などについても説明し、落ち着いた環境でゆっくりとお話をすることを心がけています。

遠慮されることなく、ぜひ気軽に私たちにご相談されて、ご自分やご家族の疾患の治療のために少しでも役立てていただければと思います。

「山陰で唯一肝細胞がんの治験を行っています」

肝臓内科 佐藤 秀一 准教授



Q 肝臓内科ではどのような治験を行っていますか？

A 治療が困難な肝臓がんの患者さんの新しい薬を治験しています。参加いただける方は肝細胞がんと診断された方で、外科的治療ができず、分子標的治療薬という飲み薬による治療を行っても効果が不十分であった患者さんです。

この治験で使用される薬は飲み薬ですので、薬を服用していただきながら、検査も行い、経過を詳しく診察します。

また、薬の有効性をより正確に確かめるため、有効成分の入っていない偽薬を飲むことになる方も一部にはあります。

Q この治験の意義はどのような点ですか？

A 従来の化学療法で、薬が効きにくくなっている方には、治験薬によって効果が出る可能性があります。

この治験により、新たな薬ができれば、さらに肝臓がんの治療の選択肢が増えることにつながります。

山陰では唯一本院が実施している治験です。参加にあたっては、条件がありますので、まずは担当の医師や治験コーディネーターにご相談ください。

病院探検隊!

「みらい棟」編

～研修医はどんな生活をしているの?～

今回の「病院探検隊!」は研修医の皆さんたちが生活をしている「みらい棟」を探検していただきました。研修医との懇談会もあり、いつもとは一味違った病院探検隊となりました。案内役は、卒後臨床研修センター 鬼形 和道 教授、しまね地域医療支援センター 立石 正計 事務局長です。

1 「みらい棟」を探検!



「みらい棟」の中にある研修医室やしまね地域医療支援センター、写真の「ギャラクシー」と呼ばれる部屋を探検しました。「ギャラクシー」では研修医が早朝からセミナーを受講するなど日々精進しています。



2 しまね地域医療支援センターの取り組みとは?



立石局長から医師の県内への定着や個別面談等によるキャリア形成の取り組みの説明がありました。

研修医のみなさんへの手厚い支援の内容がよく分かりました。

参加者

4 参加者のみなさんと研修医の懇談



参加者の皆さんから「県外出身の方は出雲弁は聞き取れますか?」「はじめて手術を見たときはどんな気持ちでしたか?」などたくさんの質問がありました。

研修医からも参加者に「医師にとって大切なことはなんですか?」と質問があり、「笑顔やあたたかさを大事にして欲しい」などのメッセージをいただきました。

3 研修医との対面



いよいよ参加者の皆さんと研修医の対面です。はじめに研修医から、出身や将来の志望などの自己紹介や一日の生活の様子の説明がありました。

多忙な研修医のみなさんには、患者さんはもちろんですが、自分自身の体も大切にしてくださいと思いました。

参加者

次回は、最新鋭の設備と管理システムによって、安全で質の高い医療機材を供給している「材料部」編を11月6日(金)14:30～15:30で予定しています。参加費無料でどなたでもご参加いただけます。定員10名なのでお申込はお早め! TEL 0853-20-2019

病気の **まめ** 知識



薬剤部
たまき ひろき
玉木 宏樹

「なぜ、くすりは **水** で飲んだ方がいいの？」

「くすりは水で飲みましょう」という言葉を見聞きしたことがあると思います。では、なぜ水で飲んだ方がいいのでしょうか。

一般的に飲みぐすりは、コップ1杯程度（約200cc）の水またはぬるま湯で飲むように作られています。例えば、少ない水（25cc）で飲んだ時には、身体に吸収されるくすりの量が少なくなることがあります。また、コーラなどのジュースでくすりを飲むと、くすりの吸収が遅くなったり、悪くなったりして、効果が弱まることが報告されています。ですので、緊急の場合を除いては水以外のもので飲まない方がよいでしょう。

また最近では、唾液でくすりを溶かして水なしで飲むことのできる「口腔内崩壊錠」というタイプのくすりもあります。一部のくすりではしゃがみにくいのですが、「ちょっとくすりが飲み込みにくい」と思われたら、医師や薬剤師に相談してみてください。

私のここだけの話

医学部広報外部アドバイザー
（医学部修士課程在学中）

はまむら かずひこ
浜村 一彦



「伝説のホテルマンとの出会いに感動」

私が11年にわたり「だんだん倶楽部会報」という広報誌の編集長として、400人近い方を取材する中で、「ミスターシェイクハンド」の異名を持つホテルマン加藤健二さんと話した時のことです。彼は何と1万人のお客さんの顔と名前を憶えている伝説の人。日本初の外資系ホテル・キャピトル東急で41年働いている間、ビートルズ、マイケル・ジャクソン、ペ・ヨンジュン、ホイットニー・ヒューストン、ドミンゴなど名だたる有名人と親交を持たれました。引退されるときは東京の新聞の一面に引退を惜しむ記事が載せられたほどです。名前と顔を憶える秘訣を聞いてみました。すると、胸ポケットから折りたたまれた紙を取り出し「私は毎朝始発の電車でホテル入りし、宿泊名簿を全てこの紙に手書きで書き写すのですよ」と。記憶する力は地道な努力で鍛えられることに感動しました。こんな素晴らしい伝説のホテルマン、実は出雲市今市町のご出身と知り、再び驚きました。

NEWS &
ニュース&トピックス
TOPICS

病院内に市民ギャラリーを開設 展示作品を募集します！

8月7日（金）に、病院内で患者さんとお家族の癒しの場となることを目指し、B病棟1階に市民ギャラリーを開設しました。

今後、広く絵画や写真の作品を募集し、市民の皆さんと一体となった院内環境の改善に取り組みます。

***お問合せ・作品展示の申込はこちら**

島根大学医学部総務課企画調査係 Tel 0853-20-2019



開設記念展示 国内外で活躍中の切り絵作家
陶山広之氏の作品7点

海外から見た「出雲の不思議」

外国の方から見た「出雲の不思議」をお聞きしました。
今回は協定校である寧夏医科大学からの留学生・白 云鵬さんに答えていただきました。

私は小さいころから星空を見るのが好きでした。雄大で不思議な存在である星空を見上げているといつも、宇宙の広大さや人間の小ささを感じていました。しかし都市の発達や環境汚染により、一部の地域ではきれいな星を見るのが難しくなってきました。

しかしここ出雲では、驚くことにたくさんの星や天の川を夏の夜に見ることができます。不思議なことに、私が小さいころ星空を見上げていた時と同じ気持ちになりました。よく寮の部屋の前で星を数えながら考え事をしますが、長い間忘れていた人たちや思い出を思い出すことができます。

出雲の夜は星空で彩られており、静かで美しいです。私はそんな出雲の星空が大好きです。



白 云鵬 さん

★夜空を見上げれば、きれいな星たちを見ることができる。そんな幸せを忘れずにいたいですね。(編集者)

イベントなどのお知らせ

▶ 島大病院 ちょっと気になる健康講座

島大病院には、専門知識を備えた、医師をはじめとする様々な職種の職員が医療・医事業務に携わっています。

本院に来院される患者さんや一般市民の方への少しばかりのサービス提供事業として、健康や医療に関するミニ講座を定期的で開催していくこととしました。

実施内容は下記のとおりです。



対象 患者さんほか一般市民 場所 外来1階 外来待合ホール 時間 11:00~11:30

回数	月 日	担 当	講 師	テーマ
第95回	10月 2日(金)	膠原病内科	角田 佳子	関節が痛いとき~もしかしてリウマチかも?~
第96回	10月15日(木)	リハビリテーション部	蓼沼 拓	在宅で受けられるリハビリサービスについて
第97回	10月20日(火)	神経内科	安部 哲史	(未定)
第98回	10月29日(木)	歯科口腔外科	辰巳 香澄	ご存知ですか? お口の病気
第99回	11月 5日(木)	脳神経外科	中川 史生	脳卒中について
第100回	11月12日(木)	整形外科	山本 宗一郎	中高年の肩の痛み
第101回	11月19日(木)	内分泌代謝内科	金沢 一平	悪玉? 善玉? コレステロールって何?
第102回	11月26日(木)	眼科	杉原 一暢	かすみ目と飛蚊症
第103回	12月 3日(木)	小児科	小林 弘典	身長・体重なぜ測る?
第104回	12月10日(木)	腫瘍・血液内科	熊野御堂 慧	がんと言われたら
第105回	12月17日(木)	精神科神経科	長濱 道治	ストレスとうつ病について
第106回	12月24日(木)	循環器内科	中島 龍馬	狭心症と心筋梗塞 ~心臓病のおはなし~

▶ 病院ボランティアコンサート 開催予定



開催場所: 玄関待合ホール

10月16日(金)19時より

● 出雲楽友協会

12月18日(金)19時より

● 島根大学 混声合唱団

11月20日(金)19時より

● 創作朗読楽団
「Repos(ルパス)」

▶ 島大病院 ちょっと気になる健康講座 放映予定(出雲ケーブルビジョン)

いきいき健康講座「まめなかくらぶ」は10月から「島大病院 ちょっと気になる健康講座」の内容で新たに放送することになりました。

10月放送 精神科神経科 助教 長濱道治
「不眠について」



出雲大社内で健康イベント開催決定!

内分泌代謝内科 守田 美和

11月14日は世界糖尿病デーです。「青い輪」をシンボルマークとして世界中で啓発イベントが開催されます。私達は、毎年、打ち上げ花火大会を神戸川で開催しています。今年は、なんと出雲大社をお借りして、「御本殿のブルーライトアップ(青い光で照らします)」、「記念講演会」、「健康ひろばイベント」を開催する事が決定しました!是非お越しください。花火は前日(11月13日)に行います!お楽しみに。

詳しくは特設サイトをご覧ください! ▶ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/diabetes/>

島大病院 書籍のご紹介

好評発売中!

島大病院・1年分の健康講座を
この1冊にまとめました。

島大病院 ちょっと気になる

健康講座

Shimane University Hospital Lectures on Health

監修: 島根大学医学部附属病院

A5判/並製本/154頁/オールカラー 発売: 今井出版 定価: 本体 926円+税

お近くの主要書店、インターネットでお買い求めいただけます。ご注文は 今井印刷株式会社 0859-28-5551

ちょっと気になる
病気・健康・病院施設のはなし



- ◆食べ物だって腸に詰まります
- ◆なぜ、くすりは水で飲んだ方がいいの?
- ◆がん相談支援センターのご紹介 など

46
項目

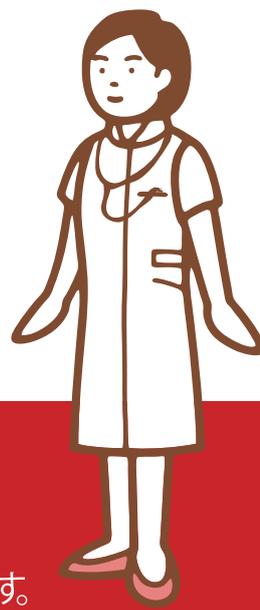


編著: 島根大学医学部附属病院
A4版/112頁/オールカラー/
発売: 有限会社 南々社
定価: 本体 1480円+税

わかる本

島根大学医学部
附属病院の
最新治療が

病気や治療について、
わかりやすく
解説しています。



病院1階サービスカウンター(売店)、お近くの主要書店、インターネットでお買い求めいただけます。

編集
後記

今回は「島大病院の治験」の特集で記事を作成しました。私自身「治験」という言葉にあまりなじみがなかったのですが、今私たちが飲んでる薬も、先に治験に参加された方からいただいた「贈り物」であることが分かりました。また、「病気のみめ知識」では、薬を適量の水かぬるま湯で飲むようお願いいただきましたが、ジュースで飲んだりしないように気をつけたいと思います。次号は年明け、1月発行予定です。

しろさぎ
についてのお問い合わせ先

医学部総務課 企画調査係 広報担当
TEL: 0853-20-2019
E-mail: mga-kikaku@office.shimane-u.ac.jp